無料資料 脳トレ 36 道具と使い方を結びつけよう

実施日　　年　　月　　日
お名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

身近な道具とその使い方を考え、線で結びましょう。思い出す・考える・選ぶことで、記憶力や判断力、言語機能の活性化につながります。

1 道具と使い方を線で結びましょう

左の道具と、右の使い方を線で結びましょう。
わからないときは、思い出して考えてみましょう。


やかん


はさみ


ほうき


ものさし


かさ

- 長さをはかる
- 雨から身を守る
- 水をわかす
- そうじをする（ごみをはく）
- 紙を切る

2 どんな時に使う？考えて書きましょう

それぞれの道具は、どんな場面で使いますか？
思い出せるだけ具体的に書いてみましょう。


歯ブラシ


なべ


電話


めがね


財布

3 仲間を1つ選んで○をつけましょう

左の道具と同じ仲間に当てはまるものを
右の3つから1つ選んで、○をつけましょう。

包丁 	フライパン 	コップ 	ボール 
タオル 	せっけん 	くし 	ノート 
薬 	水 	はし 	時計 
テレビ 	リモコン 	はさみ 	やかん 
イス 	テーブル 	ベッド 	タンス 

＋αの会話のヒント

- これを使うのはどんな時ですか？
- 他にどんな使い方がありますか？
- 昔はどんな道具を使っていましたか？
- 今でも使っていますか？

脳トレ36｜道具と使い方を結びつけよう

解答例・考え方の例

1｜道具と使い方を線で結びましょう

- やかん → 水をわかす
- はさみ → 紙を切る
- ほうき → そうじをする（ごみをよせる）
- ものさし → 長さをはかる
- かさ → 雨から身を守る

2｜どんな時に使うか考えて書きましょう（例）

- 歯ブラシ：歯をみがく時、口の中をきれいにしたい時
- なべ：みそ汁や煮物など、煮る料理を作る時
- 電話：人に連絡したい時、用事を伝えたい時
- めがね：小さい字を見る時、遠くや近くが見えにくい時
- 財布：お金やカードを入れて持ち歩く時

3｜仲間を1つ選んで○をつけましょう（考え方の例）

この問題は「同じ仲間かどうか」を考える課題です。
一つに限定されない考え方もありますが、例としては次のように考えられます。

・包丁 → はし（どちらも食事や台所で使う道具）
・フライパン → やかん（どちらも調理で使う道具）
・コップ → 水（飲むことに関係するもの）
・ボール → イス などではなく、『スポーツで使うもの』が選択肢にないため、
　この欄は「なぜ迷ったか」を話し合ってもよい問題です。

支援者向け解説

■ ねらい

身近な道具と用途を結びつけることで、意味記憶・語の理解・注意機能を使います。「どんな場面で使うか」を言葉にする課題としても活用できます。

■ 主に使う認知機能

意味記憶／言語理解／選択性注意／分類・比較／語想起

■ 難しい場合のヒント

まずは1問ずつ一緒に確認します。『これはどこで見たことがある？』『何をする道具？』と具体的に聞き、選択肢を2つに減らしても構いません。

■ 簡単な場合の難易度の上げ方

『ほかにどんな使い方がある？』『家の中で似た道具は？』と質問したり、仲間分けの理由まで説明してもらうと負荷が上がります。